

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 3月 29日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500422		
法人名	医療法人健応会		
事業所名	グループホームやまびこの里		
所在地	広島県呉市焼山南1丁目7番10号 (電話) 0823-27-3787		
自己評価作成日	令和3年2月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490500422-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490500422-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年3月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

食事の準備や食器洗い・洗濯物や掃除など、各入居者に応じた家事的役割を提供し一緒に行うことで、やりがいを持って生活していただけるように心がけ、家庭的な個別ケアの充実に力を入れている。基本、ユニットごとにスタッフは固定にしているため、入居者とスタッフ間になじみの関係ができていることから、表情や仕草・行動などから入居者の想いを汲み取り、心に寄り添うケアを行っている。毎月その月にちなんだ行事を企画し、季節感を忘れず生活にメリハリをつけて頂くよう努めている。庭に洗濯物を干しに出たり水やりを一緒にするなど、短時間でも散歩に出る時間を作るようにし、外の空気を楽しんで頂けるよう心掛けている。看護師資格を有する職員が在籍しているため、処置や健康管理をホーム内で行うことができ、通院による負担の軽減ができています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

認知症ケアに特化した精神科の訪問看護師が定期的に状態の観察と確認を行っている。毎日の生活の中で、利用者全員が役割を持って生活する事を日課とし、利用者は生きがいを持つ事で喜び、生き生きと生活が出来る様に工夫している。職員と利用者が相互にしてもらった事に感謝を伝え合う事で家庭であり家族のように過ごしてもらえ環境づくりに取り組んでいる。また、利用者、家族、職員からの意見はいつでも管理者に伝える事ができ、利用者へのサービス向上や職員の働き易さが改善されている事例がある。特に利用者一人ひとりに寄り添うケアの提供を目指し、具体的な指導要領としてユマニチュードを用い、自己決定や自立支援を職員間に定着させる為に努力を行っている。

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	事業所理念に基づいたケアの実践ができるよう、毎月のユニットミーティングにおいても唱和し、スタッフ全員で理念の再確認を行っている。	理念は各職員の名札の裏に記されており、いつでも確認することができる。管理者から職員にコミュニケーションに関する書籍を活用し、知識を習得するよう助言や指導を実施している。職員全体の介護技術や手順の統一及び、共通認識が出来る事で理念に繋がるサービスの実施を目指して取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	開設時よりコロナ禍による影響で、地域との交流ができていない現状であるが、可能な状況になれば自治会の行事や隣接するデイケアの行事に参加させていただき、交流を持っていきたいと考えている。	開設当初から既にコロナ禍であり、交流を自粛しなければならない状況が継続している。その中でも、利用者が散歩や外気浴等で近隣住民と顔を合わせる際は、積極的に挨拶をするようにし、自治会長や民生委員とは電話で管理者交代の挨拶を行うなど、出来る限りの活動を行っている。	現状の環境下では、積極的な交流が困難であると考えられるが、地域の中核である住民とごく少数での関りから運営推進会議での意見聴取や、災害対策の協力体制構築に繋がりを拡大していく必要性が感じられる。地域密着型サービスとしての機能や役割を重視したサービスの向上を期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在、地域の人々に向けた認知症への理解を深めるような活動は行えていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開設時よりコロナ感染拡大防止のため開催できていない。2ヶ月に1回運営推進会議構成員へ近況や取組み等の資料を郵送している。	新型コロナウイルス感染症予防の為に、参加者を招いた会議の開催ができず、資料の配布のみを行っている。自治会長、民生委員、市の福祉課、地域包括支援センターへ議事録を郵送している。今後は、請求書と一緒に家族や各運営推進会議構成員に意見を求める方向で検討を進めている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	疑問や不明点などはすぐに市の福祉課へ連絡をとり相談し、回答を頂き取り組んでいる。今後さらに関係性を築いていきたいと考えている。	市の集団指導は、資料の配布のみ行われる予定である。市の福祉課へ利用者の介護保険更新申請の際に、計画書の内容について確認し、市の担当者の助言と指導により正しく理解ができた事例がある。実地指導を受け、指摘のあった箇所について、改善を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>現在拘束はない。事業所内において内部研修を行い、身体拘束排除の事業所方針に沿い安全面など注意を払いながら入居者の見守りを行っている。又、身体拘束適正委員会を開催しチェックを行っている。3か月に1回実施の予定である。</p>	<p>身体拘束の原則、身体拘束の具体例などを、研修で職員が正しく理解できる機会を設けている。スピーチロックに該当しそうな不適切な対応を見かけた時は、管理者が助言や指導を行ったり、職員同士で声をかけ互いに注意をしい身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>介護職の倫理について、毎月のユニットミーティングにて皆で音読し、一人ひとりが自覚を持ち日頃から意識しながら声掛け・対応を行っている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>スタッフの制度に対する理解は十分ではないため、今後の研修の課題とし学ぶ機会を設けていきたい。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、重要事項説明書等読み上げ、説明し同意を得ている。又、不安・不明点は来訪時や電話対応時に随時説明しその都度理解を得ている。</p>		
10	6	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族来訪時や電話対応時の会話の中から意向・意見・要望等を汲み取り、ケアに反映させている。又、厳しく率直なご意見も頂けるよう、意見箱を設置している。</p>	<p>家族が意見しやすいように、管理者が持つ携帯電話に、家族がいつでも電話が出来る事を繰り返し伝えている。実際に利用者、家族の要望から朝食にパンを取り入れたり、畑を作り家庭菜園が出来る様に準備したり、加湿器の設備を導入する等の意見が反映され、サービスの向上に繋げている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定例ユニットミーティング等で意見・考え方を聞き、反映させている。必要によって、個別での面談の機会を設けて意見を聞いている。</p>	<p>毎月実施しているミーティングでは、主に利用者への個別ケアの話し合いを中心に行っている。一人ひとりの利用者に関する問題点などを職員が事前に自由記入し全体で検討している。冷蔵庫の購入や、勤務シフトの変更、職員配置に関する意見があり、改善を行った実例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>コミュニケーションをとり、想いや意見を汲み取り、上司への報告を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎月テーマを決め内部研修を行っている。今後は外部研修の受講後の研修報告によって、全スタッフのスキルアップにつながっていくよう進めていきたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>認知症に特化した呉やけやま病院が隣接しており、診察時や訪問看護の際等に相談しやすい環境にある。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居相談から入居に至るまでの間、見学や面談の機会を設け、その都度本人や家族の意向を聞き取り、納得・安心していただけるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	計画書作成時に家族の不安・心配事等の話を聴き、悩み等解消できるサービスが提供できるよう支援し安心していただくことで、より良い関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	計画書作成時にしっかり話を聴き、今何が必要なのかを見極め、本人・家族の理解を得るようにしている。訪問歯科や居宅療養管理指導のサービスを取り入れている方もいる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事の準備や掃除等、一人ひとりの力に応じた作業を提供し一緒にさせていただくことで、暮らしを共にする関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族来訪時や電話対応時、入居者の生活情報を伝え共有することで、支え合う関係を築いている。コロナ収束後は、誕生会その他の行事に声を掛け時間があれば参加して頂き、共に楽しんで頂く機会を作っていきたい。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	使い慣れた生活用品等の持ち込みや写真等で、大切にしてきたものとの関係が途切れないようにしている。現在は直接の面会はできないが、窓越し面会や電話対応・手紙等で関係継続の支援をしている。	コロナ禍であるが、窓越しに面会を行い、施設の入り口と利用者の居室間で、タブレットを利用したオンライン面会を実施している。正月には家族宛に年賀状を作成したり、家族からの電話を取り次ぐ等、関係の継続を支援している。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一人ひとりの性格や感情の変化を理解した上で、居間やソファで楽しんで頂ける時間を作り、楽しく支え合う関係が保てるようサポートしている。又、一緒の家事をして頂くことで、入居者同士が関わりを作り共同生活を送れるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了と共に全ての関係性が終了するのではなく、契約終了後も家族の相談に応じ、関係の継続を大切にしている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人・家族から本人の意向を確認している。入居後も日々の生活の中で行動や態度からも思いを読み取るよう努めている。又、困難な場合も、寄り添うことを大切にし本人のペースに合わせ本人本位の過ごし方を中心に検討している。	意向が確認できる利用者からは、日頃からしたい事を職員が聞き取っている。意向の確認が難しい利用者は、ソワソワしている等の行動から、思いを引き出す声掛けをするようにして行動の原因把握に務めている。入居者とトラブルが続いた利用者へ、日に1回は散歩をするようにし落ち着いた事例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に本人・家族・身近な方からできるだけ詳細に情報を収集している。新しく得た情報は随時スタッフで共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活歴から本人らしい過ごし方・個別の生活の流れを把握し、支援している。月1のユニットミーティング時にもモニタリングを行い本人の現状の把握に努めている。又、毎日のバイタル測定にて体調の把握にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ユニットミーティングにおいて入居者のモニタリング・評価等を話し合い介護計画に反映させている。計画作成担当者だけでなく、全スタッフや担当医の意見等を基に総合的に計画を作成している。</p>	<p>毎月、個別のケアに関するモニタリングとミーティングを実施し、医師、訪問看護師、職員と連携し話し合っている。夜眠れない利用者について、足のマッサージや水分補給、布団などの掛物を調整し、環境を整え、夜眠れるケアを提供し睡眠薬に頼らず眠れるようになった実例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々のケア記録は都度タブレットに入力し、いつでも閲覧し情報を共有できるようにしている。又、日々のケアでの気付きは申し送りや毎月のミーティングで共有し実践や介護計画に反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>できる限り本人・家族の意向を踏まえ、突発的な受診の対応等家族と連携をとりながら調整し対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ収束後には、地域行事の参加や地域ボランティアによる催事等交流をもっていきたいと考えているが、現在はまだできていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>疾患によって今までの主治医を希望される場合は家族への協力をお願いしている。職員と協力医との間でも情報を共有しながら連携をとっている。</p>	<p>今まで通っていたかかりつけ医に家族の付き添いで通う事が可能である。協力医療機関が精神科である為、内科の受診が必要な時は紹介により受診ができる。協力医療機関への通院は施設職員が同行する。医療機関へ受診する際は、管理者が口頭で利用者の状態を説明し、情報提供書を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師より助言や指示を受け、定期的な健康観察を行い日常生活の中での相談事を共有し、適切な診察や看護が受けられるように日程等調整している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、病院側とは地域移行連携室を通して情報を聞き、家族にもこまめに連絡をとり様子を伺っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化対応の指針を示し、施設でどこまで対応できるかを説明するとともに選択肢を示し理解を得るようにしている。重度化した場合には早い段階で家族に伝え、意向を確認するようにしている。</p>	<p>重度化対応・終末期ケア対応指針兼同意書を入居時に説明し、利用者、家族に同意を得ている。重度化した際は救急搬送又は、協力医療機関への入院を予定している。今後、施設での看取りを希望する利用者がある場合は体制を整備し方針を決めていく予定である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>内部研修において、マニュアルを確認しながら緊急時には全スタッフが迅速かつ適切に行動できるよう努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>昨年10月に消防避難訓練を実施。(次回は4月に実施し年2回実施予定)入居者も全員訓練に参加し、誘導の仕方や通信方法を実際に行い再確認している。</p>	<p>昨年10月に利用者全員参加で日中想定消防避難訓練を実施した。今年の4月は、夜間を想定して訓練を実施する予定である。水と食料の備蓄があり、職員の連絡網を整備している。地域との協力体制の構築には取り組めていないが、今年の訓練に参加してもらう事を検討し取り組んでいく意向である。</p>	



自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	毎月のユニットミーティングにおいて介護職の倫理及び接遇を読み合わせることで各自が再確認をし、人生の先輩として敬意を持った接し方をしよう心掛けている。その時々合った臨機応変な接し方を考え、自尊心を傷つけない対応に力を入れている。	排便の量や形態を数字とアルファベットで暗号化し、職員間で申し送りを行う事でプライバシーに配慮している。利用者が出来なかった事を責める事はせず、出来たことに感謝を伝える様にし、自尊心を傷つけない対応に取り組んでいる。選択できる様に聞き、利用者が自己決定出来るよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己表現がある時はしっかりと話しを聞き、思いや希望をはっきり表現できない時は会話の中で落ち着いて感情や希望等を汲み取り、本人の意向に沿った援助ができるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者それぞれのペースを大切に、どのように過ごしたいか、今、何をしたいのかをしっかりと聴いて支援するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時は上着や帽子をご自分で選んでいただいたり、訪問散髪の際には本人に希望の長さや形を聞いてカットしてもらうようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	料理や盛り付けと一緒にすることで、食事をより楽しみにしていただくよう努めている。洗い物等も、自分の役割として喜びとなるように依頼の声掛けをしている。おやつ時にはなるべく職員も一緒にお茶を飲むようにして家庭的な雰囲気づくりに努めている。	食材が届き、各ユニットで調理を行っている。食事の時間はテレビを消音にしてゆったりとした雰囲気の中で食事が出来る様に職員が選曲したBGMを流している。利用者の誕生日会にはケーキの盛り付けを職員と一緒にしたり、正月はおせちをお重に詰める等、食事を楽しむ支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事形態や提供量はその方の状態に合わせてその都度変更している。各ユニットのキッチンで調理しているため、その日の状態を考えながら変更した支援ができています。一人ひとりの水分量・食事量は都度記録しているため職員は把握しやすく、支援につながれている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一人ひとりに沿った口腔ケアを毎食後支援している。又、訪問歯科診療にて定期的に口腔チェック・指導を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎日の排泄チェック表の記入で一人ひとりの排泄パターンを把握し、できるだけ失禁前に声掛けをしてトイレ誘導ができるように支援している。又、仕草や行動から尿意や失禁を読み取り、失禁後も早めに交換できるよう努めている。</p>	<p>日中は、利用者全員がトイレで排泄出来る様に個々の状態に合わせて対応している。利用者の出来る事を一覧表にし、過剰介護をしない事で排泄動作の自立支援に取り組んでいる。午前中は体操を行い、午後は体を動かすレクリエーションを提供する事で、筋力や体幹バランスの維持を図っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便の有無や食事量・水分量を見ながら、水分摂取や体操・腹部マッサージを勧めている。排便困難な入居者については、医師の指示のもと内服介助を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間・曜日は一応決めてはいるが、その方の気分や体調に合わせて臨機応変に変更し対応している。又、入居者のタイミングを見ながら声掛けをし、気持ちよく入浴してもらえるように心がけている。</p>	<p>全利用者が週に2回は入浴できるようにしているが、拒否がある利用者は無理強いせず、日時変更を行っている。夏季は希望があれば追加の入浴を実施したり、冬季は足浴をして季節ごとに対応している。冬至には入浴剤で柚子の香りを楽しんで頂いた事がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日中は居室や共有スペースで各 入居者自由に休息を取っていただ いている。夜間は各居室の室温や 照明を調整し、入眠状態を確認 しながら安眠できるように支 援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬状(薬効・用量・用法)は個人 ファイルに綴じるとともにコピー を各ユニットの薬置き場に置き、 いつでも確認できるようにして いる。又、処方内容に変更があ った時には申し送りノートに記 入し情報の共有をしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの生活歴を把握し、 できる事・楽しめる事等を実施 している。学習プリントやパズル 等、その人のできるレベルに合 わせたものを見極めて提供して いる。毎月季節に合った行事を 行い、気分転換をしていただけ るよう支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>日々の生活の中・会話の中で、 入居者の気持ちに寄り添いなが らその方の気持ちを汲み取る努 力をし散歩を行っている。又、 隣接の病院受診時には病院の中 庭を散歩する等して気分転換を 図っている。</p>	<p>人混みを避けて感染症予防対策 を行い、散歩や施設敷地内で日 光浴を実施している。車いすの 利用者も車いす用の車両でドラ イブや桜の花見に出かけられる ように計画を検討中である。現 在、家族との外出は、外来受診 の為の通院時のみだが、行き帰 りに外食等に行ったり買い物 をする事ができる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>入居者の金銭管理の取り扱いは していない。個人で買い物をし たり支払いをする機会はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を利用している入居者もいる。電話がかかってきた際には取次ぎもしている。手紙は届けば渡し、読んでもらっている。年末にはレクリエーションとして家族へ年賀状を書き近況を伝えてもらう取り組みもしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花や皆で作成した壁画等で季節感を感じていただき、職員もその都度声掛けをしている。毎食食事作りをしているので、ご飯の炊ける匂いやおかずのできる匂いを感じてもらっている。冬季は浴室やトイレ等は特に温度差に気を付け快適に使用できるように配慮している。	共用部のテーブル上に生花が飾られ、利用者が共同制作した季節を感じられる作品を展示している。共用部の家具や壁は淡いピンクと紫で優しい色味に統一している。毎食時の調理をキッチンで行う為、家庭的な雰囲気の中で昼食の献立当てクイズを開催する事もある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	できるだけ日中は居間で過ごしていただけよう声掛けしているが、共有空間の中でもソファで少人数でゆっくり過ごして頂ける空間を作っている。テーブルや座席の配置等、入居者同士コミュニケーションが取り易いような組み合わせを考え、座っていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には馴染みのあるものを持ち込んで頂くよう家族にお願いしている。居室の中は本人や家族の意向を踏まえながら、写真を飾ったりその人らしい空間作りの協力をさせていただいている。	自宅で寛いでいたソファや、使い慣れた箆笥、愛用している抱き枕、自分で制作した編み物の作品などを飾ったり、使い続けている。ふらつきの強い利用者はベッドを居室の中心に置き、ベッドを伝って歩いたり、手を伸ばせば壁にすぐ手をつく事ができ、転ばずに暮らせる工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	アセスメントした上で安全面を考慮しながら、その都度持っている能力に応じた行動を見守りながら、居室内のテーブル・椅子・ベッド等の配置を考え、安全に過ごせるよう工夫している。		

V アウトカム項目( さくら ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	事業所理念に基づいたケアの実践ができるよう、毎月のユニットミーティングにおいても唱和し、スタッフ全員で理念の再確認を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	開設時よりコロナ禍による影響で、地域との交流ができていない現状であるが、可能な状況になれば自治会の行事や隣接するデイケアの行事に参加させていただき、交流を持っていきたいと考えている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在、地域の人々に向けた認知症への理解を深めるような活動は行えていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開設時よりコロナ感染拡大防止のため開催できていない。2ヶ月に1回運営推進会議構成員へ近況や取組み等の資料を郵送している。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	疑問や不明点などはすぐに市の福祉課へ連絡をとり相談し、回答を頂き取り組んでいる。今後さらに関係性を築いていきたいと考えている。		

自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	現在拘束はない。事業所内において内部研修を行い、身体拘束排除の事業所方針に沿い安全面など注意を払いながら入居者の見守りを行っている。又、身体拘束適正委員会を開催しチェックを行っている。3か月に1回実施の予定である。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	介護職の倫理について、毎月のユニットミーティングにて皆で音読し、一人ひとりが自覚を持ち日頃から意識しながら声掛け・対応を行っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	スタッフの制度に対する理解は十分ではないため、今後の研修の課題とし学ぶ機会を設けていきたい。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、重要事項説明書等読み上げ、説明し同意を得ている。又、不安・不明点は来訪時や電話対応時に随時説明しその都度理解を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族来訪時や電話対応時の会話の中から意向・意見・要望等を汲み取り、ケアに反映させている。又、厳しく率直なご意見も頂けるよう、意見箱を設置している。		



自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定例ユニットミーティング等で意見・考え方を聞き、反映させている。必要によって、個別での面談の機会を設けて意見を聞いている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>コミュニケーションをとり、想いや意見を汲み取り、上司への報告を行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎月テーマを決め内部研修を行っている。今後は外部研修の受講後の研修報告によって、全スタッフのスキルアップにつながっていくよう進めていきたい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>認知症に特化した呉やけやま病院が隣接しており、診察時や訪問看護の際等に相談しやすい環境にある。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居相談から入居に至るまでの間、見学や面談の機会を設け、その都度本人や家族の意向を聞き取り、納得・安心していただけるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	計画書作成時に家族の不安・心配事等の話を聴き、悩み等解消できるサービスが提供できるよう支援し安心していただくことで、より良い関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	計画書作成時にしっかり話を聴き、今何が必要なのかを見極め、本人・家族の理解を得るようにしている。訪問歯科や居宅療養管理指導のサービスを取り入れている方もいる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	食事の準備や掃除等、一人ひとりの力に応じた作業を提供し一緒にさせていただくことで、暮らしを共にする関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族来訪時や電話対応時、入居者の生活情報を伝え共有することで、支え合う関係を築いている。コロナ収束後は、誕生会その他の行事に声を掛け時間があれば参加して頂き、共に楽しんで頂く機会を作っていきたい。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	使い慣れた生活用品等の持ち込みや写真等で、大切にしてきたものとの関係が途切れないようにしている。現在は直接の面会ができないが、窓越し面会や電話対応・手紙等で関係継続の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一人ひとりの性格や感情の変化を理解した上で、居間やソファで楽しんで頂ける時間を作り、楽しく支え合う関係が保てるようサポートしている。又、一緒の家事をして頂くことで、入居者同士が関わりを作り共同生活を送れるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス終了と共に全ての関係性が終了するのではなく、契約終了後も家族の相談に応じ、関係の継続を大切にしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に本人・家族から本人の意向を確認している。入居後も日々の生活の中で行動や態度からも想いを読み取るよう努めている。又、困難な場合も、寄り添うことを大切にし本人のペースに合わせ本人本位の過ごし方を中心に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に本人・家族・身近な方からできるだけ詳細に情報を収集している。新しく得た情報は随時スタッフで共有するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活歴から本人らしい過ごし方・個別の生活の流れを把握し、支援している。月1のユニットミーティング時にもモニタリングを行い本人の現状の把握に努めている。又、毎日のバイタル測定にて体調の把握にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ユニットミーティングにおいて入居者のモニタリング・評価等を話し合い介護計画に反映させている。計画作成担当者だけでなく、全スタッフや担当医の意見等を基に総合的に計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々のケア記録は都度タブレットに入力し、いつでも閲覧し情報を共有できるようにしている。又、日々のケアでの気づきは申し送りや毎月のミーティングで共有し実践や介護計画に反映させている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>できる限り本人・家族の意向を踏まえ、突発的な受診の対応等家族と連携をとりながら調整し対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ収束後には、地域行事の参加や地域ボランティアによる催事等交流をもっていきたいと考えているが、現在はまだできていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>疾患によって今までの主治医を希望される場合は家族への協力をお願いしている。職員と協力医の間でも情報を共有しながら連携をとっている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師より助言や指示を受け、定期的な健康観察を行い日常生活の中での相談事を共有し、適切な診察や看護が受けられるように日程等調整している。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、病院側とは地域移行連携室を通して情報を聞き、家族にもこまめに連絡をとり様子を伺っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化対応の指針を示し、施設でどこまで対応できるかを説明するとともに選択肢を示し理解を得るようにしている。重度化した場合には早い段階で家族に伝え、意向を確認するようにしている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	内部研修において、マニュアルを確認しながら緊急時には全スタッフが迅速かつ適切に行動できるよう努めている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	昨年10月に消防避難訓練を実施。(次回は4月に実施し年2回実施予定)入居者も全員訓練に参加し、誘導の仕方や通信方法を実際に行い再確認している。		

自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	毎月のユニットミーティングにおいて介護職の倫理及び接遇を読み合わせることで各自が再確認をし、人生の先輩として敬意を持った接し方をするよう心掛けている。その時々合った臨機応変な接し方を考え、自尊心を傷つけない対応に力を入れている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	自己表現がある時はしっかりと話しを聞き、思いや希望をはっきり表現できない時は会話の中で落ち着いて感情や希望等を汲み取り、本人の意向に沿った援助ができるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者それぞれのペースを大切にし、どのように過ごしたいか、今、何をしたいのかをしっかりと聴いて支援するようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出時は上着や帽子をご自分で選んでいただいたり、訪問散髪の際には本人に希望の長さや形を聞いてカットしてもらうようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	料理や盛り付けを一緒にすることで、食事をより楽しみにしていただくよう努めている。洗い物等も、自分の役割として喜びとなるように依頼の声掛けをしている。おやつ時にはなるべく職員も一緒にお茶を飲むようにして家庭的な雰囲気づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事形態や提供量はその方の状態に合わせてその都度変更している。各ユニットのキッチンで調理しているため、その日の状態を考えながら変更した支援ができています。一人ひとりの水分量・食事量は都度記録しているため職員は把握しやすく、支援につながれている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一人ひとりに沿った口腔ケアを毎食後支援している。又、訪問歯科診療にて定期的に口腔チェック・指導を受けている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>毎日の排泄チェック表の記入で一人ひとりの排泄パターンを把握し、できるだけ失禁前に声掛けをしトイレ誘導ができるように支援している。又、仕草や行動から尿意や失禁を読み取り、失禁後も早めに交換できるよう努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日の排便の有無や食事量・水分量を見ながら、水分摂取や体操・腹部マッサージを勧めている。排便困難な入居者については、医師の指示のもと内服介助を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>時間・曜日は一応決めてはいるが、その方の気分や体調に合わせて臨機応変に変更し対応している。又、入居者のタイミングを見ながら声掛けをし、気持ちよく入浴してもらえるように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b>  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	日中は居室や共有スペースで各 入居者自由に休息を取っていただ いている。夜間は各居室の室温や 照明を調整し、入眠状態を確認 しながら安眠できるように支 援している。		
47		<b>○服薬支援</b>  一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	薬状(薬効・用量・用法)は個人 ファイルに綴じるとともにコピー を各ユニットの薬置き場に置き、 いつでも確認できるようにして いる。又、処方内容に変更があ った時には申し送りノートに記 入し情報の共有をしている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b>  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	一人ひとりの生活歴を把握し、 できる事・楽しめる事等を実施 している。学習プリントやパズル 等、その人のできるレベルに合 わせたものを見極めて提供して いる。毎月季節に合った行事を 行い、気分転換をしていただけ るよう支援をしている。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b>  一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。	日々の生活の中・会話の中で、 入居者の気持ちに寄り添いなが らその方の気持ちを汲み取る努 力をし散歩を行っている。又、 隣接の病院受診時には病院の中 庭を散歩する等して気分転換を 図っている。		
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b>  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	入居者の金銭管理の取り扱いは していない。個人で買い物をし たり支払いをする機会はない。		



自己評価	外部評価	項目( すみれ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を利用している入居者もいる。電話がかかってきた際には取次ぎもしている。手紙は届けば渡し、読んでもらっている。年末にはレクリエーションとして家族へ年賀状を書き近況を伝えてもらう取り組みもしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花や皆で作成した壁画等で季節感を感じていただき、職員もその都度声掛けをしている。毎食食事作りをしているので、ご飯の炊ける匂いやおかずのできる匂いを感じてもらっている。冬季は浴室やトイレ等は特に温度差に気を付け快適に使用できるように配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	できるだけ日中は居間で過ごしていただけるよう声掛けしているが、共有空間の中でもソファで少人数でゆっくり過ごして頂ける空間を作っている。テーブルや座席の配置等、入居者同士コミュニケーションが取り易いような組み合わせを考え、座っていただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時には馴染みのあるものを持ち込んで頂くよう家族にお願いしている。居室の中は本人や家族の意向を踏まえながら、写真を飾ったりその人らしい空間作りの協力をさせていただいている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	アセスメントした上で安全面を考慮しながら、その都度持っている能力に応じた行動を見守りながら、居室内のテーブル・椅子・ベッド等の配置を考え、安全に過ごせるよう工夫している。		

V アウトカム項目( すみれ ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

## 2 目標達成計画

事業所名 グループホームやまびこの里

作成日 令和3年4月27日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	コロナ収束後には地域活動や行事に参加し交流を深めたいが、まだ自治会に加入していない現状である。	地域清掃や祭り等に参加させてもらい、地域の一員として交流をもつ。	自治会に加入し、地域活動の情報を得る。	1カ月以内
2	6	終日フロア出入口のドアを施錠している現状である。	終日施錠ではなく、日中可能な時間は開錠する。	昼食時開錠から始めてみる。開扉時気付くようにドアベル等を購入。	2ヶ月以内
3	48	散歩等の外出は実施しているが、目的のない外出が多い現状である。	役割や楽しみ事等、目的を持って喜びのある生活を送っていただく。	花の水やりを入居者と共にする。また、畑を整地し、畑仕事を日課として提供する。	6カ月以内
4	26	実施している個別ケアが介護計画に反映されていない部分がある。	全入居者の介護計画が個別性のあるものになる。	毎月のケアモニタリングでの意見を介護計画に反映させ、介護計画の見直し・立て直しをする。	12ヶ月以内
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。